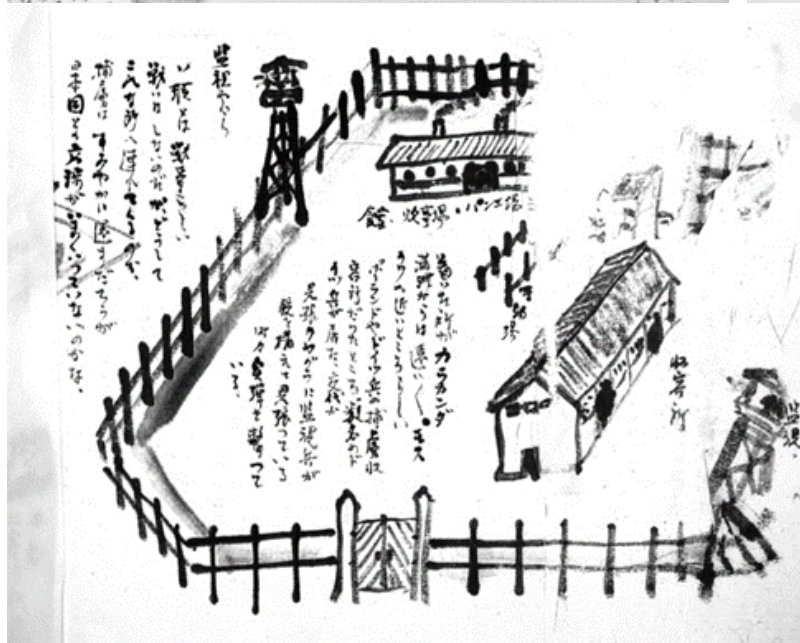
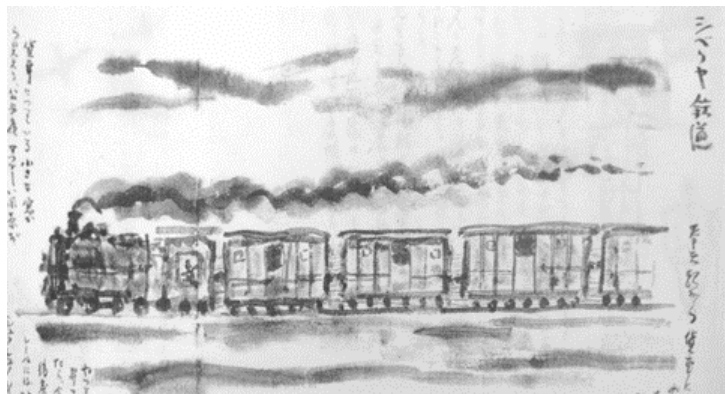


次世代に伝える悲劇の記憶と教訓

シベリア抑留 1945~1956⇒2023

史料と作品を観る・聞く・読む・語る



澤田精之助絵巻『シベリア抑留者の思い出』



映画『ラーゲリより愛を込めて』で改めて知られるようになったシベリア抑留。多くの体験者が記憶を絵やスケッチに描き、残しています。収容所の中の様子を活写した32メートルの絵巻物、収容所の中で描かれたスケッチ、壁新聞、収容所から送られてきたはがきは記憶と歴史を読み解く貴重な史料です。体験者や遺族らの話を聞くギャラリートークやビデオ上映も毎日行います。ふるってご覧ください。

●日時:5月2日(火)~10日(水)11:00~19:00

*オープニング 5/2 15:00 *最終日 5/10 17:00 まで <入場:無料>

●会場:千代田区立九段生涯学習館2F「九段ギャラリー」

(東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車 6番出口すぐ前、千代田区九段南1-5-10)

●主催:千代田・人権ネットワーク ●共催:シベリア抑留者支援・記録センター

●連絡・問合せ先:☎080-5079-5461 E-Mail:cfrtyo@gmail.com URL: <http://sdcpis.webnode.jp/>

●協力:小さな平和祈念館(山形県村山市)・山本顕一・佐藤健雄一家・四國光・history for peace



渡邊昭平画・ブカチャーチャの炭坑風景



渡邊昭平画「死体を運ぶ」

【特別展示】抑留者らが描いた女性たち



四國五郎「ナホトカ・デッサン」



佐藤健雄「望郷」



山本幡男手書き壁新聞

●主な展示作品・資料●

澤田精之助氏絵巻物(32m)、渡邊昭平氏スケッチ(26点)、山本幡男氏遺品・壁新聞、佐藤健雄氏はがき・絵、『日本新聞』、『捕虜体験記』、収容所の写真など
 *毎日 14:00~15:00 ギャラリートーク
 *関連ビデオも連日上映予定 詳しくはホームページをご覧ください。⇒<http://sdcpis.webnode.jp/>



会場地図